

きずな

2010年 5月 6日

NO 790

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

森近運平の遺徳をしのび墓前祭

参加者が墓に線香を手向ける

明治天皇の暗殺を企てたとして、社会主義者らが弾圧された大逆事件（1910年）に連座し処刑された、井原市高屋町出身の社会運動家、森近運平（1881～1911年）の刑死99年墓前祭（写真右上）が「森近運平を語る会」主催で4月29日、高屋町田口の生家跡で県内外から80人が参加しておこなわれました。



開会のあいさつで、会代表の坂本忠次氏（岡山大名誉教授）が「他の地域では事件の犠牲者の復権運動が進んでいるので井原でも進めたい。来年は刑死100年に当たるので、命日の1月24日前後にシンポジウムを開き、更に顕彰したい」と参加者に訴えました。また、山泉進明治大学副学長（大逆事件の真実を明らかにする会事務局長）は「森近は

事件とは全く関係ないことがハッキリしている。市議会などで名誉回復してほしい」と訴えました。

昨年6月に浅口市金光町の運平の妻繁（シゲ）の遺族宅で見つかった800点以上の書簡などを調査している森山誠一氏（金沢星稜大名誉教授：写真左）が、運平は1909年に帰郷し、逮捕直前まで営んでいた温室名称が「森近園芸場」だったことなど、今までにハッキリしなかった部分が少しずつ明らかになってきた現在までの調査の成果を報告し、参加者は興味深く聞いていました。



式が終わって生家に隣接する墓に参加者全員が線香を手向け（写真右下）運平の遺徳を偲びました。



第5回 櫻の杜 熟会員美術展
藤井直彦氏追悼展
2日～4日 市民ギャラリー

エビネ蘭展示会
4月29日～5月3日
井原市民会館





平成22年度 井原市有功表彰式

4月30日井原市役所で「平成22年度 井原市有功表彰式」が行われました。

この度は、谷本仲彌氏と田邊隆則氏の2氏が受賞されました。

瀧本市長のあいさつの一部を紹介し、2氏の功績の紹介とします。

谷本仲彌様は、平成9年に井原市廃棄物減量等推進審議会委員に就任されて以来、12年と、大変永きにわたり、本市の廃棄物減量化、資源化にご尽力いただきました。中でも、本市が開催した家庭ごみ減量化説明会では、積極的に地域に出向かれ、職員とともに説明をしていただくなど、ご尽力をいただきました。谷本様のこうした活動が、市民皆様のごみ減量化意識の向上に繋がっているところであります。また、この他にも、井原市議会議員在職中には市民福祉委員長を務めるとともに、井原市環境審議会委員、井原市環境衛生協議会会長などを歴任され、それぞれのお立場から環境問題全般に取り組んでいただき、本市が誇る美しい自然環境の保全に多大なご貢献をいただいたところであります。

田邊隆則様は、芳井町議会議員として、3期10年9か月、井原市議会議員として、2期4年2か月、また、この間、芳井町議会議長、同副議長をとともに2年間務められるなど、大変永きにわたり、地方自治の育成・発展に尽くされ、本市の産業をはじめ、教育、文化、福祉の向上に多大なご貢献をいただいたところであります。中でも、平成17年3月の1市2町の合併に際しましては、芳井町議会議員並びに井原地域合併協議会委員として、民意を反映され、新市誕生に多大なご貢献をいただきました。また、井原市議会地域医療等を考える調査特別委員会委員として、本市の喫緊の課題である地域医療の充実に取り組まれるなど、市民福祉の向上と市勢発展に多大なご貢献をいただいたところであります。

